

道場住み込みを体験して

林 憲央



一ヶ月間という短い期間でしたが、思った以上に大変でした。まず、第一に、とても眠い日々で、特に火曜日から土曜日の朝稽古が続くのが大変で土曜日の朝稽古に眠さのピークを迎えました。

私は料理をしたことがなかったので、毎週金曜日の朝食作りを避けていましたが、順番が来てしまったので、内弟子の篠崎さんに手伝ってもらってなんとか乗り切りました。この時、篠崎さんには沢山迷惑を掛けてしまいました。すいませんでした。

住み込みが一週間位過ぎて、フィリップという新しい住み込みの人が加わりました。彼は私と同年の二十歳で、スウェーデンから来ました。

彼はスウェーデン語と英語、ポーランド語を話せるそうで、日本語しか話せない自分が情けなく感じました。彼には何回か夜の稽古が終わった後にスウェーデン語を教えてもらい、私も日本語を少し教えてあげました。とても楽しかったです。



そして今回、孀恋合宿に初めて参加させて頂きました。孀恋は自然豊かでとても良い所でした。

最初に稽古、その後久し振りの温泉、飲み会、そして次の日に朝稽古、昼には普段あまり時間のとれない剣・杖の練習がたっぷりでき、またまた温泉と、とても充実した内容の合宿でした。

住み込みの生活はとても眠くて大変でしたが、とても楽しかったです。来月から今度はデンバーのほうに二ヶ月住み込みなのでここでの経験を生かしたいと思います。



道場長と副道場長の弘明先生には何度もお馳走になりました。また、弘明先生の奥様の実代子さんの朝御飯はとても美味しかったです。指導員の方々にも色々とお親切にして頂き、有難うございました。そして、アニタさん、いつもおにぎり有難うございました。

本当に良い経験になったと思います。有難うございました。